

2001(平成13年).5.1. 大豆畑トラストへの参加呼びかけ

ご存知のとおり、大豆は日本人の食生活にとってなくてはならないものですが、そのほとんどを外国からの輸入に頼っています(97%)。そして、その多くがアメリカからです。アメリカは遺伝子組み替え作物の開発に積極的であり、また、広大な畑で農薬の空中散布も大々的にしています。そんな大豆と比べて、価格的に太刀打ちできない日本の大豆は衰退してしまいました。遺伝子組み替え大豆に反対し、国内産の自給率をたかめるには、私たち消費者の理解が大変重要です。

大豆畑に出資し生産者を応援することによって、より安全な国内産の大豆の生産を増やし、遺伝子組み替え大豆の輸入拒否をする、同時にすべての遺伝子組み替え農産物の生産に反対の意思表示をする……、これが大豆トラストの運動の目的です。

今年も下記の要領で取り組みます。たくさんの参加をお待ちしています。

2002.8 苗がないところはハトが食べました。
収穫前に鹿に食べられた年もありました。



2003.7 遺伝子組み換え大豆いらない！
の看板作り(市島町)



2009年 7月 発芽しなかった場所に補植



2010年 長い梅雨と大雨で水びたし



大豆トラスト

農業体験スケジュール



※1回目と4回目には出来るだけ、ご参加ください。
※上記のスケジュールは1回目以外は大いたいの目安です。大豆の生育状況やお天気まわりによって決めますが、まえもってご案内します。